

## 2019年度プムセ国際大会派遣選考基準

強化委員会

### 1 2019年度派遣対象大会

- (1) アジアジュニア・カデット（公式国際大会）
- (2) ユニバーシアード（公式国際大会）※JOC 規定に基づき派遣
- (3) オープン大会に関しては前期1大会、後期1大会を予定

### 2 選考基準大会

- (1) 第3回少年少女選抜テコンドー選手権大会
- (2) 第12回全日本テコンドープムセ選手権大会  
※ユニバーシアードにおいてはU30の対象選手での選考とする。

### 3 2019年度プムセ国際大会派遣選考について、以下の選考基準にて実施する。

- (1) 選考対象種目は、カデットからU30までの規定プムセ、フリースタイルプムセ、ニュープムセ並びに、カデットからU30までのペア規定プムセ及びフリースタイルプムセとする（以下の表のとおり）。（○が選考対象種目）

		カデット	ジュニア	U-30
規定プムセ 及び ニュープムセ	個人	○	○	○
	ペア	○	○	○
	チーム	×	×	×
フリースタイル プムセ	個人	○	○	○
	ペア	○	○	○
	ミックス	×	×	×

- (2) 強化委員会において、後記（4）で定める選考対象選手の中から、後記（5）で定める選考基準に従って、派遣選手を選出する。ただし、後記（5）で定める選考基準に満たない場合には、当該カテゴリーの選手選考を行わないものとする。

- (3) 前記（2）にて選出された選手につき、強化委員会から選考委員会に答申し、選考委員会にて承認後、当該選手が代表選手となる。

### (4) 選考対象選手

2019年1月1日～12月31日の年齢区分による対象カテゴリーに出場した選手

のうち以下の項目のいずれかを満たす選手を選考対象選手とする。

- ア 第3回少年少女選抜テコンドー選手権大会出場者
- イ 第12回全日本テコンドープムセ選手権大会出場者
- ウ 2019年開催の国外オープン（G1以上）大会出場者
- エ 2019年度プムセ強化指定選手

#### (5) 選考基準

##### ア 公式国際大会について

以下の優先順位により、代表選手を選出する。

(ア) 前年度の国際公式大会（アジア競技大会・アジア選手権大会以上）での成績がベスト8位以上の者で、以後の対象大会選考までの国内大会で同一カテゴリーにおいて順位の変動していない者

(イ) 前記（ア）に該当選手がいない場合、前記（4）の選考対象選手の中で第3回少年少女選抜テコンドー選手権大会、第12回全日本テコンドープムセ選手権大会において成績が1位の者で且つ以後の対象大会選考までの国内大会（第12回全日本テコンドージュニア選手権大会は同一カテゴリーではないため除く）で同一カテゴリーにおいて順位が変動していない者

(ウ) 前記（イ）に該当選手がいない場合、直近の国際オープン大会での成績が3位以内の者、または前記（イ）のU30カテゴリーは第12回全日本テコンドー選手権大会1位の者、カデット・ジュニアカテゴリーは第3回少年少女選抜テコンドー選手権大会1位の者

##### イ オープン国際大会

以下の優先順位により、代表選手を選出する

(ア) 第3回少年少女選抜テコンドー選手権大会及び第12回全日本テコンドープムセ選手権大会3位以内で得点7点以上の者、かつ国際大会を経験させることでさらなる成長が見込める者

(イ) 前記（ア）に該当選手がいない場合、国際大会を経験させることで成長が見込める者（過去の実績よりも第3回少年少女選抜テコンドー選手権大会・第12回全日本テコンドープムセ選手権大会において成長していると順位・得点で判断できる者）

(ウ) 前記（イ）に該当選手がいない場合、2019年開催の国際大会（国外オープン大会G1以上を含む）出場者で3位以内の者

#### ウ ペア

以下の優先順位により、代表選手を選出する

(ア) 前記ア及びイで選考された男女個人または、選考には漏れたがそれに準じる成績の者の中で前記ア及びイにて選考された男女個人よりも上位入賞を目指せると強化委員会が判断した者

(イ) 第12回全日本テコンドー選手権大会ペア部門で1位のペア

#### 4 選考対象種目、選考対象選手、選考基準の理由について

##### (1) 選考対象種目

国際公式大会においては上位入賞を目指すことを目標とした。

国際オープン大会においては経験を積むことで国際公式大会への出場も視野にいれての選考目標とした。

##### (2) 選考対象選手

前記(1)のとおり、国際大会において上位入賞を目指すことを目標に掲げ、上位入賞を目指す選手を選考することとした。そこで、選考対象の選手を、過去の実績から選出された強化指定選手であること、国内(第3回少年少女選抜テコンドー選手権大会・第12回全日本テコンドーブムセ選手権大会)や、国外(G1以上)の大会実績のあるものを選考対象とした。

##### (3) 選考基準

###### ア 国際公式大会

選考対象者の中から前年度国際公式大会(アジア大会以上)において上位入賞を目指す選手を選考するために、直近の国際公式大会で8位入賞者且つ以後の国内大会で順位の変動の無い者を選出することとした。また、前年度の国際公式大会(アジア大会以上)で成績を収めた選手がいない場合には、第3回少年少女選抜テコンドー選手権大会及び第12回全日本テコンドーブムセ選手権大会の成績の1位までの者且つ以後の国内大会で順位の変動の無い者を選出することとし、それにも該当する選手がいない場合には第3回少年少女選抜テコンドー選手権大会及び第12回全日本テコンドーブムセ選手権大会の成績1位の者を選出することにより実績を評価し選出することとした。

###### イ 国際オープン大会

選考対象者の中から第3回少年少女選抜テコンドー選手権大会及び第12回全日本テコンドーブムセ選手権大会3位以内かつ得点7点以上の者(7点未満のものは国際大会

派遣の条件に満たないと判断した) 国際大会を経験させることで成長が見込める者(過去の実績よりも第3回少年少女選抜テコンドー選手権大会及び第12回全日本テコンドー選手権大会において成長していると順位・得点で判断できる者) または国内公式大会で1位の者を選出

#### ウ ペア

選考対象者の中から個人カテゴリーで選出された選手または、選考には漏れたがそれに準じる成績の者(ペアにおいては個人の技量よりもシンクロ率などの要素もあるため、単純な優劣よりも地域や所属も加味し強化できる環境の者を選考対象とした)の中で選考された男女個人よりも上位入賞を目指せると強化委員会が判断した者、それにも該当がない場合には第12回全日本テコンドー選手権大会ペア部門で1位のペアを選考することとした。

以上